

住もうよ高梁 空き家(中古住宅)の活用を支援します!

空き家の改修助成金を拡充し、新たに「購入」「家財整理」を助成対象に追加しました。



◆対象

- ① 5年以上賃貸または無償で使用させる空き家を所有する人
- ② 5年以上暮らす空き家を購入、賃貸、無償で使用する人で、次のいずれかに該当する人(ただし、市税等を完納していること)
 - ㊦ 本市に定住の意思をもって移住しようとする人、移住後1年を経過しない人
 - ㊧ 本市に住民登録を有し、未成年の子を養育する人
 - ㊨ 本市に住民登録を有し、助成金の交付申請日において満40歳以下の人

◆補助対象事業および助成額等

区分	対象経費	補助率	交付限度額
空き家購入(新規)	空き家(中古物件)の購入費用 ※売買代金200万円以上から対象 ※3親等内の親族間での売買は対象外	10分の1以内	未成年者を養育する世帯…75万円 その他の世帯…50万円
空き家家財整理(新規)	空き家の家財道具の搬出処分と清掃について、市内の業者に委託する経費 ※補助対象経費10万円以上から対象 ※空き家の購入・賃貸の契約成立後、1年以内に実施するもの(空き家バンク登録物件は契約成立前の実施も可)	3分の2以内	20万円
空き家改修(拡充)	空き家の居住部分の修繕工事と設備改善のための改修工事について、市内業者が施工する工事費用 ※補助対象工事費30万円以上から対象 ※空き家の購入・賃貸の契約成立後、1年以内に着手するもの	3分の1以内	未成年者を養育する世帯…75万円 その他の世帯…50万円

市内に、貸したい、売りたい空き家をお持ちの方は、定住対策課にご相談ください。

☎ 定住対策課 ☎ 21 - 0282



平川村定住推進協議会
中岸 廣之さん(79)

ぶどう(ピオーネ)農家としての研修生の受け入れと、就農での移住支援に取り組んでいる。

過疎や土地の荒廃、担い手不足などへの対策を地域住民で話し合っており、7割以上の賛成を得て、移住の受け入れを積極的に進めていることと決めたのが平成18年。正式に組織が立ち上がったのは平成20年のこと。それから7年、多くの就農希望者を受け入れ、こちらもずいぶん慣れてきた。これまで8人の研修生を受け入れ、6人が就農している。

地域の集まりへの参加は当たり前 気兼ねせずなんでも言う

移住してきた人は、そりゃあ、地域の集まりへの参加は強制!(笑)
人に会ったらかく顔を覚えること。また顔を合わせた時には自分からあいさつすれば、それで覚えてもらえる。

そして、仕事に、生活に、まじめに取り組んでほしい。わしは気兼ねせずなんでも言う。

市への要望もある。予算が年度区切りなのはわかるが、農業は年度区切りでは進まない。もう少し柔軟に新規就農者への支援に対応してほしい。
ぶどう農家の研修には審査を通った人が来てくれるので、これまで変な人が来たことはないが、江崎さんとは素直で真面目。仕事も地域のことも、とても頑張っているよ。



江崎 裕二さん(53)
直美さん(52)

平成25年9月に福岡県から備中町平川へ移住

福岡県で小学校の教員をしていましたが、いつまでもできる仕事として農業、特に果樹栽培をやっていきたくて考えていました。

高梁市には新規就農に対する手厚い支援があることを知り、平川の風景を見て、すぐにここに住もうと決めました。紹介された空き家は老朽化していましたが、地域の人の手助けや、市の空き家改修助成金制度がありがたかったです。



田川 寿一さん(34)
美菜さん(31)

空き家バンクを利用して平成25年6月に大阪府から成羽町布寄へ移住

また吹屋に小学校が必要になるくらい移住者を増やしたい

都会暮らしをしていて、人とのつながりの薄さを感じていました。田舎の人付き合いに魅力を感じていたところ、高梁市に住む友人に誘われ、定住対策課に紹介された空き家を一見して、移住を決めました。

食べ物は安全でおいしいし、子どももののびのび育っています。周りの人たちは温か

ひと口食べて「うめえなあ」と感じるようなピオーネを作りたい

現在はピオーネ栽培の2年間の研修中で、今年度末に卒業、独立予定です。

基本的には、妻と二人で幸せに暮らしていければいいですが、人生をより楽しむために目標を持つとすれば、ピオーネ農家として、年収1000万円を目指したいです。

ぶどう栽培は実に奥深くで、丁寧に頑張ればきちんと実を結ぶ。技術を確立して、師匠である中岸さんに追いつき、追い越したいと思っています。

なにより、ひと口食べて「うめえなあ」と感じるようなピオーネを作りたいです。

スーパーやコンビニが遠いことも、今はこのほうが良いとさえ思うようになった

移住当初から現在に至るまで、とにかく平川村定住推進協議会の人たちに助けられて

く、困ったことがあったら助けてくれます。
現在、吹屋の空き店舗を預かって飲食店(カフェ)を運営しています。
田舎暮らしがしたい人はたくさんいますよ。高梁への移住者が増えて、子どもが増えて、また吹屋に学校が必要になるくらいにしたいと考えているので、市内でお産ができなくなったのは残念です。せめて助産師さんがいたらなあと思っています。



ともあれ、高梁での生活は楽しいですよ! 四季を感じながら、理想の田舎暮らしができます。移住して、自分の世界が広がりました。いえ、周りの人たちに広げてもらいました!

困っていることはありません。強いて言えばスーパーやコンビニが遠いことですが、慣れてきたらこの方が良くさえ思うようになりました。

不安に思っていたことはすべて取り越し苦労

移住するにあたって不安に思っていたことは、全て杞憂に終わりました。自分が心を開いてさえいけば、しっかりと受け入れてくれる、素晴らしい地域です。

